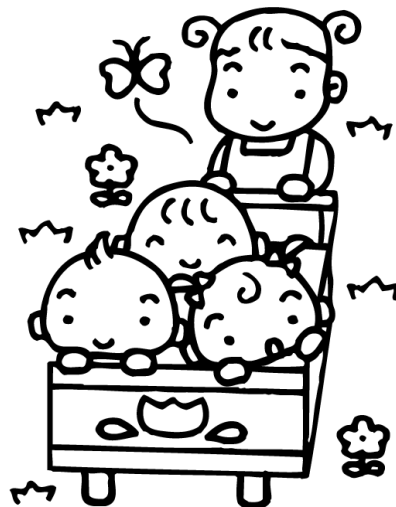


0歳児の教育・保育の取り組み

浜岡幼保園

- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、安定した生活ができるようにします。
- ・一人ひとりの子どもに合わせて、授乳を行い、離乳を進めて健やかな発育、発達を促します。
- ・衛生的で安全な環境を作り、常に体の状態を細かく観察し、病気や異常の発見に努め、快適に生活できるようにします。
- ・体の新陳代謝を高める為、1日1回着替えを行います。
- ・子どもに優しく語りかけをしたり、歌いかけたり、子どもの発声に应答しながら、喃語を育みます。
- ・一人ひとりの子どもとスキンシップを十分にとりながら、手足や身体をのびのびと動かして遊び心身共に快適な状態をつくり、情緒の安定を図ります。
- ・子どもに優しく言葉がけしながら、見たり、聞いたり、触ったりできるおもちゃなどで、遊ばせてあげることにより、見る、聞く、触れるなどの働きが豊かになるようにします。
- ・安全で活動しやすい場所で、寝返りや腹ばいなど運動的な活動を促します。



1 歳児の教育・保育の取り組み

浜岡幼保園

- ・登園時には保育教諭と一緒に言葉や動作で挨拶をする心地よさを感じられるようにしていきます。又、降園時にはハイタッチをし、明日も元気に登園できるようにします。
- ・絵本の読み聞かせの時間を設けることにより、絵本を見る楽しさを味わい、言葉を育みます。
- ・興味別遊びでは、色々な素材や感触の異なる遊具や玩具を自由に使って遊び、手や指先の発達を促し好奇心を育てます。
- ・お散歩や遊具などを通して自然に触れたり、歩行の完成や身体機能の発達を図ります。
- ・身近な音楽に親しみ、リズムにあわせて身体を動かして楽しむ事で表現力を育てます。
- ・晴れた日には、テラスや戸外に出て自然に触れたり身体を動かして遊ぶこと(砂遊び、遊具遊び、雪遊び)を楽しんだり、室内ではごっこ遊び、なぐり書き、粘土遊び、リズム遊び等を楽しんだりします。
- ・オムツがぬれていない時は言葉がけしトイレに誘う等して、保育教諭の見守る中、安心して排泄ができるように援助していきます。
- ・様々な食品や調理状態に慣れ、色々な食べ物を見たり触れたり、嚙んで味わう経験を通し
楽しい雰囲気の中で食べることが出来る様にします。
- ・自我が育ち始め「自分で」や「いや」と強く自己主張する子どもも多くなり、思い通りにならないと泣いたり、かんしゃくを起こしたりする場合があります。その時には、その子の思いを十分に受け止め、見守り、自信へとつなげていきます。
- ・保健的で安全な環境を作り、心身の状態を観察ながら、快適に園生活を送れるようにします。
- ・一人ひとりの子どもに温かく関わり、甘えや依存欲求を満たし、情緒の安定を図ります。

2歳児の教育・保育の取り組み

浜岡幼保園

- ・気持ちよく一日が始められるように登園時には、元気よく挨拶し、降園時には、ハイタッチをします。
- ・走る・飛ぶ・登る等の全身を使う遊びや、摘む・丸める・めくる・通す等の手や指を使う遊びを豊富に取り入れていき子ども達の好奇心が膨らみ全身や指先の機能の発達を促します。
- ・保育教諭と一緒にリズムに合わせて体を動かしたり、お絵かきや製作などを通して表現力を高められるような活動を楽しみます。
- ・興味別あそびを取り入れ、主体的に遊ぶ中でお友だちと関わって遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきます。
- ・晴れた日にはテラスや園庭、戸外に出て、自然に触れたりのびのびと全身を使って遊びます。
- ・いろいろな経験を通し、言葉が豊かになり、自分の思いや気持ちを言葉で表せるようになって、保育教諭と一緒に基本的な挨拶ができるように言葉がけをしていきます。
- ・子ども達のぶつかり合いには保育教諭が仲立ちに入り、お互いの気持ちに気づけるように繰り返し伝えていき、友達との遊びを通して言葉のやりとりを楽しんだり、一緒に遊ぶ楽しさを味わいます。
- ・排泄の自立を目指し、言葉かけによりトイレに行き、保育教諭の見守る中、安心して排泄が出来るように援助、言葉かけしていきます。又、家庭と連携をとり登園前の排泄時間・降園時前の排泄時間を伝え合い、排泄の自立を目指します。
- ・衣服を着易く広げてあげる等援助し、少しずつ一人で着替えられるようにしていきます。又、衣服のたたみ方、片づけを習慣づけられるようにしていきます。
- ・友達と楽しい雰囲気の中で食事することで、苦手な物でも少しずつチャレンジし、食べられたことに満足感を味わい、その児の自信に繋がるようにしていきます。一人ひとりの食事の様子から、箸への移行時期を家庭とともに考え、協力を求めながら負担なく進められるよう援助していきます。又、食事後タオルで口の周りを拭いたり、お茶を飲むこと等を行い、清潔にする習慣が身に付くようにしていきます。ご家庭でもお子様に教えてあげてください。
- ・生活環境を常に清潔に保つとともに、自ら不快感に気づき、鼻を拭く・手を洗う等の清潔や安全の習慣が少しずつ身につくようにしていきます。
- ・一人ひとりの子どもの健康や発育、発達状態を把握し、家庭との連携を密にすることで、一人ひとりに応じた発育・発達を促すよう援助・配慮をしていきます。
- ・一人ひとりの気持ちを十分に理解し、受けとめることにより、安心して活動や生活を送れるようその子にとって居心地のいい空間作りに努めます。

3歳児 教育・保育の取り組み

浜岡幼保園

- ・気持ちよく一日が始められるように登園時には元気よく挨拶し、降園時には保育教諭や友達と「また、遊ぼうね」の気持ちを込めて、ハイタッチをします。
- ・裸足保育を行い脳の活性化と土踏まずの形成につなげ、5本の指を使うことでバランスのとれた体づくりをめざします。
- ・興味別あそびでは、子どもが好きな遊びやおもちゃを選び、自分で考える力や工夫する力を育み、主体的に遊べることを目的としています。
- ・簡単な形を描く・切ることや、音楽に合わせて歌う・動く・楽器をならす等さまざまな表現活動を楽しめるようにします。
- ・ルールのある遊びを楽しむ中で、友達が困ったり泣いたりするとなぐさめたり、保育教諭に伝えたりするなど、手助けをしようとする気持ちを持てるようにします。
- ・おもちゃや遊具を順番に使うことや交代することがわかるようにします。
- ・遊びの中でえんぴつ持ちの練習を取り入れ、文字への興味を持てるようにします。
- ・物や場所の安全な使い方を理解したり、絵本や椅子などを大切に扱おうとする気持ちが持てるようにします。
- ・身の回りの整理整頓を自分ですることで、きれいな環境で過ごす気持ちよさを持てるようにします。
- ・集団として一緒に行動することを楽しめるようにします。
- ・お当番活動を通して、お手伝いすることを喜んだり、挨拶や返事など生活に必要な言葉を覚えたり、みんなの前でお話しができるようにします。
- ・体操教室では、外部講師を招き、友だちと楽しく体を動かす中で、心身のバランスを整え、集中力をアップさせていきます。
- ・身のまわりのこと（片付け・着脱・排泄・食事など）を自分でしようとしています。
- ・排泄後の手洗いを身につけるようにします。
- ・脱いだ服の裏表を直して畳み、決められた場所に片付けられるようにします。
- ・正しい姿勢で座り、食器を正しく持って食べられるようにします。又、楽しい雰囲気の中で苦手なものでも少しずつ食べられるようにします。

4歳児 教育・保育の取り組み

浜岡幼保園

- ・気持ちよく一日が始められるように登園時には元気よく挨拶し、保育教諭や友達と「また明日遊ぼうね」の気持ちを込めて、降園時にはハイタッチをします。また、友だちとの関わりの中でいろんな挨拶を覚えていきます。
- ・裸足保育を行い脳の活性化と土踏まずの形成につなげ、5本の指を使うことでバランスのとれた体づくりをめざします。
- ・興味別あそびでは、子どもが好きな遊びやおもちゃを選び、自分で考える力や工夫する力を育み主体的に遊べることを目的としています。
- ・自分でできることに喜びを感じながら、生活に必要な基本的習慣や言葉を身につけるようにします。
- ・簡単なルールや仲間同士の決まりを守りながら、集団で活動することを楽しむようにします。
- ・自分の物、人のもの、共同のものの区別が分かり、大切にできるようにします。
- ・散歩などを通して、自然に触れ、からだを鍛え、交通ルールを理解し身を守ることを知っていきます。
- ・姿勢を正しくして、鉛筆を正しく持ち、文字の読み書きを学んでいきます。
- ・英語教室では外部講師を招き、簡単な英語を学び、楽しみながら興味や関心を高めていきます。
- ・体操教室・サッカー教室では外部講師を招き、友達と楽しく体を動かす中で、心身のバランスを整え、集中力をアップさせていきます。
- ・音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力を養います。
- ・『能登よさこい祭り』で踊りを披露し、地域の行事に参加する機会を持ちます。
- ・身の回りの整理整頓を自分ですることで、きれいな環境で過ごす気持ちよさを持てるようにします。
- ・日常会話や絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養います。
- ・箸を正しく持ち、きちんとテーブルに向かって食事をするなど、食事に対する望ましい姿勢・マナーを身につけるようにします。
- ・農園での野菜栽培、収穫、クッキングなどを通して、食べ物への興味や、食べる意欲を持ち、作ってくれた人や食べ物全ての命をいただくことへの感謝の気持ちを込めて、楽しく食事ができるようにします。

5歳児 教育・保育の取り組み

浜岡幼保園

- ・気持ちよく一日が始められるように登園時には自分から進んで元気よく挨拶し、保育教諭や友達と「また遊ぼうね」の気持ちを込めて、降園時にはハイタッチをします。また小学校へ行っても挨拶をすることでお友だちと仲良く遊べることを目的としています。
- ・裸足保育を行い脳の活性化と土踏まずの形成につなげ、5本の指を使うことでバランスのとれた体づくりをめざします。
- ・『ハローハローディ』をもうけ、のどじま幼保園との交流を通して集団遊びし、ルールを守って活動することを楽しむようにします。
- ・日常会話や絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養います。
- ・『自分のもの』、『人のもの』、『共同のもの』の区別が分かり、大切にできるようにします。
- ・散歩などを通して自然に触れ、身体を鍛え、交通ルールを理解し身を守ることを知っていきます。
- ・姿勢を正し、鉛筆を正しく持ち、文字・数字の読み書きを学んでいきます。
- ・英語教室では外部講師を招き、簡単な英語を学び、楽しみながら興味や関心を高めていきます。
- ・音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力を養います。
- ・伝統芸能である『七尾まだら』を踊ったり、『能登よさこい祭り』で踊りを披露し地域の行事に参加します。
- ・お茶会では正座をして集中力を高め、礼儀作法の基礎を学びます。また“一期一会”のころを大切に感謝の気持ちがもてるようにします。
- ・陶芸教室を通して、五感の発達を促し、造形する喜びを味わいます。
- ・年間を通して『スポーツギャザー』に通い、夏には毎日プールに入り心身ともにたくましい身体を作ります。
- ・体操教室・サッカー教室では外部講師を招き、体の様々な動かし方を学ぶことで、身体能力を高め心身のバランスを整えます。また、集中力をアップさせ、ケガの予防に繋がっていきます。
- ・身の回りの整理整頓を自分でする事で、きれいな環境で過ごす気持ちよさを持てるようにします。
- ・農園での野菜栽培、収穫、クッキング等を通して、食べ物への興味や食べる意欲を育てます。又、食べもの全ての命を頂くことへの感謝の気持ちを込めて楽しく食事ができるようにします。
- ・箸を正しく持ち、きちんとテーブルに向かって食事をするなど、食事に対する望ましい姿勢・マナーを身につけるようにします。
- ・興味別あそびでは、子どもが好きな遊びやおもちゃを選び、自分で考える力や工夫する力を育み、主体的に遊べることを目的としています。